

# 聖ミカエル幼稚園 1949(S24)～79

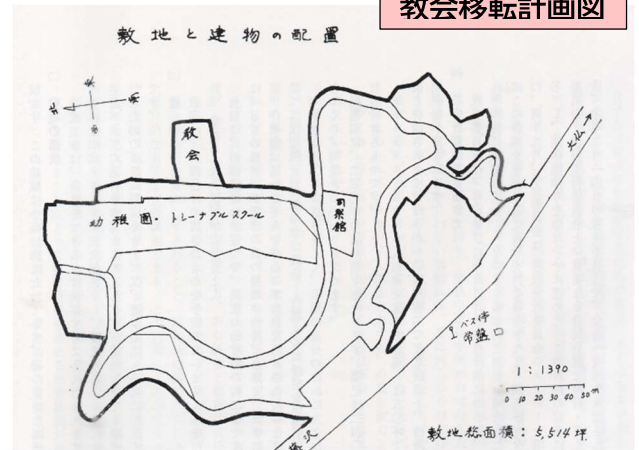
## ⑤⑥ 聖ミカエル学院幼稚園

### 1979(S54)～2023(R5)

「鎌倉聖公会」は1933(S8)年鎌倉町小町41番地ノ1に聖堂を落成し11月3日を教会設立記念日と定めた。38年隣接地を買収し敷地は243坪に拡張され小町商店街に面する現在の土地形状になった。戦中の不幸な時代を経て48年小町会堂に復帰し「鎌倉聖ミカエル教会」と改称した。信者が戻り始めた機運の中で、翌49(S24)年4月「聖ミカエル幼稚園」が開園した。

聖堂横の狭い部屋に園児20名、初代園長は黒瀬保郎司祭が兼任し第6回卒園生まで務めた。1回生の松本多嘉子は「何もなかった時代、園長先生を唯一の遊び相手として良くぶら下がって遊んだことが忘れられない」と後に記した。64年、沢田美喜サンダースホーム園長を招き講演会を開催した。65(S40)年に会館改築工事に伴い幼稚園も拡張され、68年に幼稚園記念誌『二十年のあゆみ』が出版された。





1974(S49)年頃に教会移転計画検討委員会ができ、信者に配布した説明書に学校法人による壮大な幼稚園構想が記載されていた。3年

保育、知的障がい及びダウン症候群の児童教育訓練施設、母子10組が宿泊できる施設が盛り込まれていた。75年5月25日、信徒総会が開催され、移転賛成49反対54の僅差で否決され、その後信徒間は混迷した。

78年になり幼稚園の今後の在り方について検討が始まった矢先の翌79(S54)年4月1日に聖ミカエル幼稚園は休園となった。設立以来30年間に総計1,064名の園児たちが学んだ。最後の第30回生は58名(男36名 女22名)であった。

学校法人聖ミカエル学院(常盤445-3)が1979(S54)年2月28日に神奈川県 of 認可を取得し、4月1日、「聖ミカエル学院幼稚園」を設立した。理事長は石川英樹、園長は上原謙一郎である。園の紹介文に「当幼稚園は、人間社会の最も大切な土台である「おもいやり」を育むことに保育の重点を置き、すべての人を大切に、お互いに助け合う子供の育成をめざしています。」



とある。聖ミカエル学院幼稚園は鎌倉聖ミカエル教会と関連がないとのことだが、設置された住所は教会の移転計画の説明書に記された場所と合致している。残念ながら経緯の詳細は不明である。

ユニークな建物の幼稚園は設立後44年間、地域の幼稚園として存在感があった。園児の白いケープの制服姿が可愛く印象に残っている(近隣の人)、狭い園庭なのでかえって運動会がにぎやかだった(孫を通わせた祖母)の話も聞いた。2023(R5)年3月31日閉園した。この理由も調べることができなかったが、鎌倉聖ミカエル教会現司祭が閉園のミサに赴いたとの事であった。

聖ミカエル学院幼稚園

